

平成20年6月19日

関係各位

岐阜県森林研究所長

平成20年度第1回岐阜県森林研究所研究・成果発表会の開催について

日頃は、当所の試験研究業務の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当所では、下記のとおり研究・成果発表会を開催します。つきましては、多くの方に参加いただくとともに、関係者へお知らせいただきますようご案内申し上げます。

記

1. 開催日時および場所

日時：平成20年7月15日（火曜日）13：30～16：30（開場 13：00）

場所：中濃総合庁舎5階大会議室

〒501-3756 岐阜県美濃市生櫛1612-2 TEL(0575)33-4011

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/common/facility/map005.htm>

2. 発表内容

①ヒノキの大径材生産は枝下高が決め手（横井秀一）

人工林が高齢化しつつあり、大径材生産がこれからの目標になります。現在のヒノキ林を大径材生産林に誘導できるかどうかを、枝下高に着目して検討します。

②河川環境に配慮した作業路開設（杉山正典）

森林整備と濁水流出の関係について明らかにするために、作業路開設時の溪流の濁りについて調査したのでその結果について報告します。

③粘着剤を散布してナラ枯れ被害を防ぐ（大橋章博）

現在、ナラ枯れ被害の予防法として、粘着剤と殺虫剤を樹幹に散布する方法が行われています。コストの削減や作業性を高めるため、散布範囲を狭くし、予防効果を検証したので報告します。

④岐阜県におけるクマハギ被害の実態とその防除（臼田寿生）

県内の人工林ではツキノワグマによる剥皮被害が拡大し、大きな問題となっています。そこで、被害の実態を調査するとともに、既存の防除対策の有効性について検証したので報告します。

⑤スギ林床を利用したムラサキシメジ栽培の試み（水谷和人）

ムラサキシメジは晩秋、雑木林に発生する紫色の食用キノコです。ここでは、スギ林内の林床でムラサキシメジ栽培の可能性を検討した結果を紹介します。

3. 参加料及び定員：無料、100人

4. 参加申し込み期限：7月8日

5. 申し込み及び問い合わせ先

岐阜県森林研究所 天野、茂木

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代1128-1

TEL:0575-33-2585、FAX:0575-33-2584

e-mail moteki-yasukazu@pref.gifu.lg.jp